

# 平成23年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年9月10日

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス  
 コード番号 3733 URL <http://www.softs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年9月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

(氏名) 宮崎 勝  
 (氏名) 伊藤 純一郎

TEL 06-6350-7222

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年4月期第1四半期の業績(平成22年5月1日～平成22年7月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第1四半期	1,134	△31.2	69	△66.7	63	△69.7	35	△70.8
22年4月期第1四半期	1,649	83.0	207	—	210	—	123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第1四半期	6.73	—
22年4月期第1四半期	23.00	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第1四半期	7,358	6,575	89.4	1,232.05
22年4月期	8,593	6,806	79.2	1,275.38

(参考) 自己資本 23年4月期第1四半期 6,575百万円 22年4月期 6,806百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	0.00	—	50.00	50.00
23年4月期	—	—	—	—	—
23年4月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年4月期の業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,837	△8.2	646	44.7	650	45.1	392	50.1	73.45
通期	9,000	13.5	2,090	15.6	2,097	15.4	1,260	18.1	236.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年4月期1Q 5,488,000株 22年4月期 5,488,000株

② 期末自己株式数 23年4月期1Q 151,168株 22年4月期 151,022株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年4月期1Q 5,336,902株 22年4月期1Q 5,354,085株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) ハードウェア仕入実績 .....	8
(2) 受注実績 .....	8
(3) 販売実績 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、好調な外需を牽引にした回復基調にあり、企業の設備投資意欲もわずかながら改善する傾向にありました。しかし、世界的な景気回復の減速感や、急進する円高による輸出産業の収益圧迫の影響は否めず、完全な上昇転換とするには決め手を欠く状況で推移しました。

医療業界におきましては、診療報酬について10年ぶりのプラス改定傾向が見られたものの、医療費の抑制、及び適正化は依然として強く意識されております。その反面で、勤務医や介護職員の処遇改善、また救急医療及び周産期・小児医療の充実等、担うべき負担は増大し、病院経営を取り巻く環境の厳しさは解消され難いものとなっております。

このような中で当社は、医療の効率化、及びクオリティ向上に不可欠な統合系医療情報システムである、電子カルテシステムの開発・販売を中心に事業を展開し、受注を獲得してまいりました。平成22年7月24日に「パス・ワーキング勉強会」（35病院・97名参加）を開催する等、ニーズへの的確な対応を目的とした既存顧客とのコミュニケーションも順調であり、同年8月には定例の「SSユーザー会」、及び「SSユーザー看護部会」が開催されております。また、平成20年3月の看護部会の発足に続き、かねてより顧客要望の高かったシステム管理者を対象とした取組みが、新たに「SSユーザーシステム管理者部会」として両会とともに開催されました。顧客病院との堅固な関係性は当社の強みであり、この継続と顧客満足度の向上に対して今後も真摯に取り組んでまいります。

医療業界のシステム投資意欲の低調状態は長期化し、市場における有力ベンダー数社の競争は激しさを増しております。その中でこのような努力を継続した結果、当第1四半期会計期間の売上高は1,134百万円（前年同四半期比31.2%減）、受注高は2,528百万円（同74.5%増）、受注残高は3,102百万円（同58.4%増）、利益面におきましては営業利益69百万円（同66.7%減）、経常利益63百万円（同69.7%減）、四半期純利益35百万円（同70.8%減）となりました。なお、セグメントの業績につきましては、当社は、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、上述と同様となります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### <資産・負債及び純資産の状況>

##### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して1,234百万円減少し、7,358百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1,028百万円の減少、たな卸資産72百万円の増加、及び売上債権231百万円の減少によるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して1,003百万円減少し、783百万円となりました。主な要因は、仕入債務393百万円の減少、及び未払法人税等606百万円の減少によるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して231百万円減少し、6,575百万円となりました。主な要因は、四半期純利益35百万円及び第41期利益剰余金の配当金266百万円によるものであります。

#### <キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1,128百万円減少し、2,342百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、772百万円（前年同四半期は214百万円の支出）となりました。これは主に、税引前四半期純利益64百万円、たな卸資産増加額72百万円、仕入債務減少額393百万円、売上債権減少額231百万円、法人税等の支払額594百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、112百万円（前年同四半期は4百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入300百万円と、定期預金の預入による支出400百万円、及び有形固定資産の取得による支出10百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、243百万円（前年同四半期は208百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額243百万円によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の業績予想につきましては、平成22年6月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため注記を省略しております。  
また、四半期財務諸表の作成に特有の会計処理については、該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・会計処理基準に関する事項の変更

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,742,027	3,770,878
受取手形及び売掛金	697,067	928,268
商品	54,995	56,183
仕掛品	171,540	97,572
その他	112,770	121,028
貸倒引当金	△6,748	△6,976
流動資産合計	3,771,653	4,966,955
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,346,416	1,373,085
構築物(純額)	20,890	21,413
工具、器具及び備品(純額)	122,325	128,307
土地	1,629,652	1,629,652
有形固定資産合計	3,119,285	3,152,458
無形固定資産	11,992	11,071
投資その他の資産		
投資有価証券	277,097	285,900
関係会社株式	20,000	20,000
その他	158,933	157,002
投資その他の資産合計	456,031	462,903
固定資産合計	3,587,309	3,626,434
資産合計	7,358,963	8,593,389
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	126,005	519,386
未払法人税等	4,171	611,086
前受金	312,141	353,558
その他	341,407	302,702
流動負債合計	783,726	1,786,733
負債合計	783,726	1,786,733
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,010,800	1,010,800
利益剰余金	4,882,824	5,113,738
自己株式	△162,180	△161,967
株主資本合計	6,578,844	6,809,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,607	△3,314
評価・換算差額等合計	△3,607	△3,314
純資産合計	6,575,236	6,806,655
負債純資産合計	7,358,963	8,593,389

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)
売上高	1,649,620	1,134,353
売上原価	1,245,018	833,171
売上総利益	404,601	301,182
販売費及び一般管理費	196,998	232,093
営業利益	207,603	69,089
営業外収益		
受取利息	473	1,042
受取配当金	1,026	533
投資有価証券評価益	630	—
その他	1,153	1,747
営業外収益合計	3,283	3,323
営業外費用		
支払利息	—	118
投資有価証券評価損	—	8,310
営業外費用合計	—	8,428
経常利益	210,887	63,984
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	228
特別利益合計	—	228
特別損失		
固定資産除却損	52	—
特別損失合計	52	—
税引前四半期純利益	210,834	64,212
法人税、住民税及び事業税	69,382	1,564
法人税等調整額	18,322	26,713
法人税等合計	87,704	28,277
四半期純利益	123,130	35,934

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	210,834	64,212
減価償却費	45,219	39,260
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	335	△228
受取利息及び受取配当金	△1,499	△1,576
支払利息	—	118
投資有価証券評価損益 (△は益)	△630	8,310
固定資産除却損	52	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△323,998	231,200
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,519	△72,779
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,484	△393,380
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,892	△71,678
前受金の増減額 (△は減少)	△22,951	△41,417
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	13,293	92,873
その他	△16,840	△34,877
小計	54,925	△179,961
利息及び配当金の受取額	1,525	1,857
利息の支払額	—	△118
法人税等の支払額	△270,806	△594,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	△214,355	△772,641
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,892	△10,756
無形固定資産の取得による支出	—	△1,780
定期預金の払戻による収入	—	300,000
定期預金の預入による支出	—	△400,000
短期貸付金の回収による収入	308	291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,584	△112,244
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
自己株式の取得による支出	—	△212
配当金の支払額	△208,908	△243,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,908	△243,963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△427,848	△1,128,850
現金及び現金同等物の期首残高	1,931,461	3,470,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,503,612	2,342,027



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載していません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

当社は、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況を種類に拠って記載しております。

##### (1) ハードウェア仕入実績

ハードウェアの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

種類	当第1四半期会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	前年同四半期比 (%)
ハードウェア (千円)	125,957	25.5
合計 (千円)	125,957	25.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (2) 受注実績

受注実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	受注高		受注残高	
	当第1四半期会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	前年同四半期比 (%)	当第1四半期会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	1,362,162	133.4	1,818,091	145.5
ハードウェア (千円)	1,166,631	272.6	1,284,541	181.1
合計 (千円)	2,528,793	174.5	3,102,632	158.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (3) 販売実績

販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第1四半期会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	503,714	85.2
ハードウェア (千円)	151,144	22.7
保守サービス (千円)	479,495	122.0
合計 (千円)	1,134,353	68.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)		当第1四半期会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
社会保険紀南病院	598,255	36.3	—	—
地方独立行政法人 北松中央病院	—	—	185,960	16.4
徳洲会インフォメーシ ョンシステム(株)	—	—	136,152	12.0

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。